



わたしたちが分別して出したあと
何に生まれ変わっているの？

古紙

新聞紙

雑誌・コピー紙

新聞紙

雑誌・本類

お菓子の箱
ティッシュの箱など

段ボール

段ボール紙

その他紙類

牛乳パック

トイレトペーパー
ティッシュペーパー

布類

■中古衣料 → 海外へ輸出

■綿製品 → ウェス（工場で使う雑巾）
軍手、モップなど

■合成繊維製品 → 車の内装材
カーペット



天ぷら油

■天ぷら油 → 印刷インキや塗料（道路の
白線）などの原料



びん類


■リターナブルびん → ボトラー（中身を作る工場）へ

そこで、検査、殺菌、洗浄され中身を詰めて、再度びんとして使用


■ワンウェイびん → 色別に選別されたあと、カレット化

（※カレット：ガラスびんを再商品化するため、細かく砕いた状態のこと）
同色のガラスびんやタイル・ブロックの原料

プラクル


■プラクル  → 化学原料
日用雑貨等のプラスチック製品

かん類

■スチール缶  → 建築資材などの
スチール製品

■アルミ缶  → アルミ缶
アルミ製品

ペットボトル

■ペットボトル  → 新しいYシャツ・じゅうたん
くつ下などの化学繊維製品

ものによって生まれ変わるものが異なります。
「きちんと分別」しましょう！

